

磯子区高潮ハザードマップ

高潮浸水想定区域(想定最大規模※)

この高潮ハザードマップは、高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の高潮」による氾濫を前提として予測したものです。

高潮浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの？

この高潮浸水想定区域の範囲や深さは、国内観測史上、最も大きな台風が、沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合をシミュレーションにより予測したものです。

【想定する台風】
 ・中心気圧：910hPa(室戸台風級) ・暴風半径：20,30,40,75km(伊勢湾台風級)
 ・移動速度：20,30,40,50,53,60,73km/h(伊勢湾台風級)

なお、この高潮浸水想定区域は、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮してません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合は、実際の浸水深と異なる場合があります。

※神奈川県ホームページ
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/takashio/tokyo-bay.html>



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
河川	横浜市下水道河川局 河川図
浸水想定区域	神奈川県 高潮浸水想定区域図(令和6年2月指定)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和7年7月現在)

凡例 (Explanatory Notes)

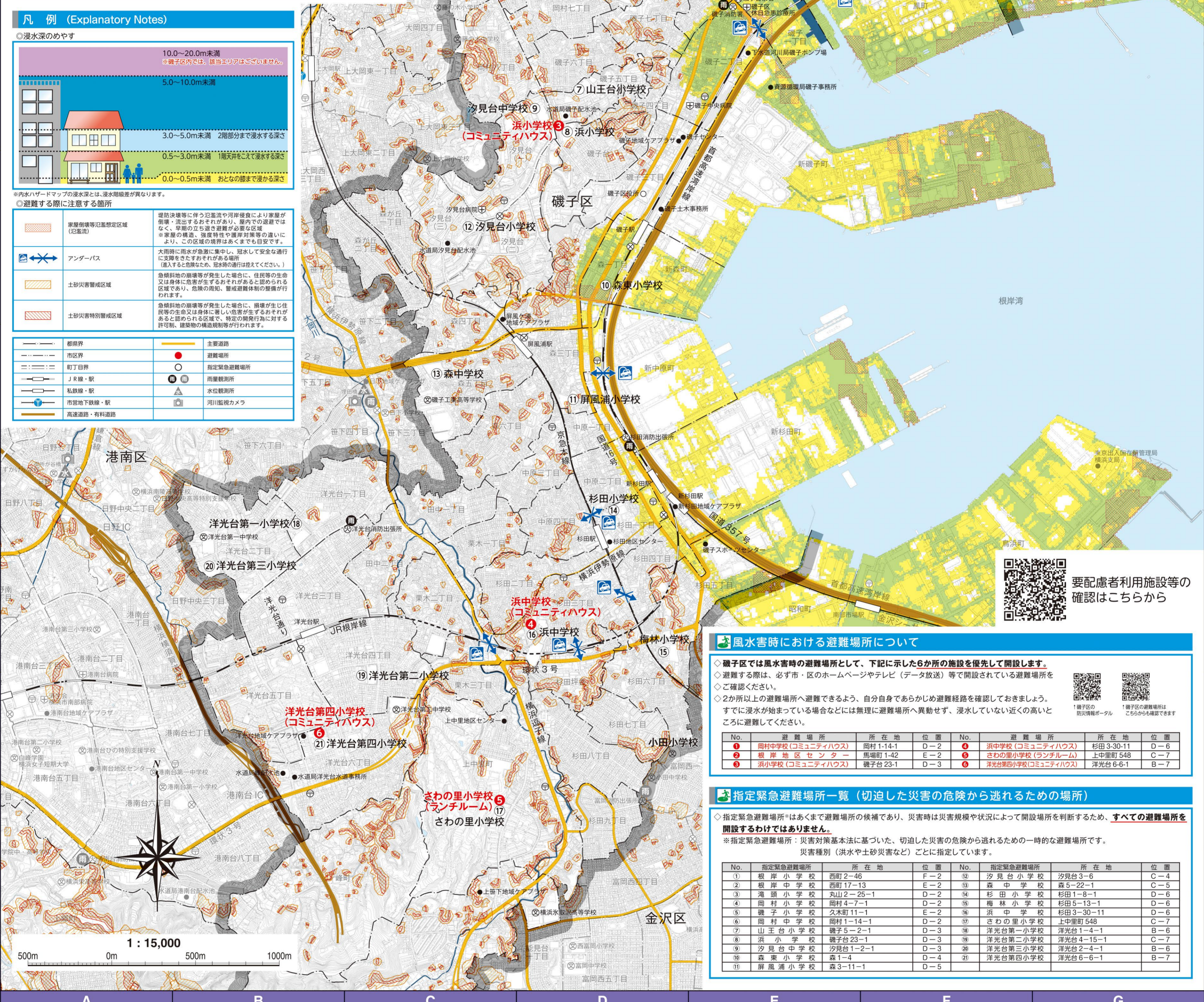
●浸水深のめやす

※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水開始時の水深です。

●避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域(浸水)	堤防決壊等に伴う氾濫や河川侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、早期での避難が必要となる区域。家屋の構造、強度特性や堤防対策等の違いにより、この区域の危険はあくまでも目安です。
	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある箇所(進入すると危険なため、冠水の進行は控えてください。)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に被害が生ずるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒態勢の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に甚しい被害が生ずるおそれがある区域と認められる区域で、特定の崩壊行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都県界		主要道路
	市区界		避難場所
	町丁目界		指定緊急避難場所
	JR線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		水位観測カメラ
	高速道路・有料道路		



要配慮者利用施設等の確認はこちらから

風水害時における避難場所について

- ◆磯子区では風水害時の避難場所として、下記に示した6か所の施設を優先して開設します。
- ◆避難の際は、必ず市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
- ◆2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ避難経路を確認しておきましょう。
- ◆すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ異動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

No.	避難場所	所在地	位置	No.	避難場所	所在地	位置
1	岡村中学校(コミュニティハウス)	岡村1-14-1	D-2	6	浜中学校(コミュニティハウス)	杉田3-30-11	D-6
2	根岸地区センター	馬場町1-42	E-2	7	さわの里小学校(ランチルーム)	上中里町548	C-7
3	浜小学校(コミュニティハウス)	磯子台23-1	D-3	8	洋光台第四小学校(コミュニティハウス)	洋光台6-6-1	B-7

指定緊急避難場所一覧(切迫した災害の危険から逃れるための場所)

◆指定緊急避難場所とはあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、**すべての避難場所を開設するわけではありません。**
 ※指定緊急避難場所：災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
 災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
1	根岸小学校	西町2-46	F-2	12	汐見台小学校	汐見台3-6	C-4
2	根岸中学校	西町17-13	E-2	13	森中学校	森5-22-1	C-5
3	滝原小学校	丸山2-25-1	D-2	14	杉田小学校	杉田1-8-1	D-6
4	岡村小学校	岡村4-7-1	D-2	15	梅林小学校	杉田5-13-1	D-6
5	磯子小学校	久木町11-1	E-2	16	浜中学校	杉田3-30-11	D-6
6	岡村中学校	岡村1-14-1	D-2	17	さわの里小学校	上中里町548	C-7
7	山王台小学校	磯子5-2-1	D-3	18	洋光台第一小学校	洋光台1-4-1	B-6
8	浜小学校	磯子台23-1	D-3	19	洋光台第二小学校	洋光台4-15-1	C-7
9	汐見台中学校	汐見台1-2-1	D-3	20	洋光台第三小学校	洋光台2-4-1	B-6
10	森東小学校	森1-4	D-4	21	洋光台第四小学校	洋光台6-6-1	B-7
11	屏風浦小学校	森3-11-1	D-5				

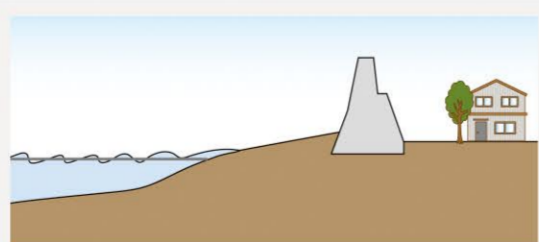
3 高潮の発生について

高潮とは

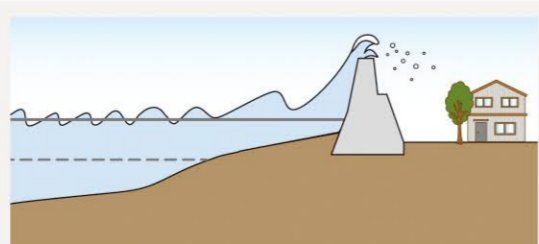
高潮とは、台風や発達した低気圧に伴って、海岸で海面が異常に高くなる現象です。

高潮が発生すると海水が堤防を越えてしまったり、台風によって発生した高い波は越波するようになり、背後地が浸水する可能性が高くなり、とても危険です。

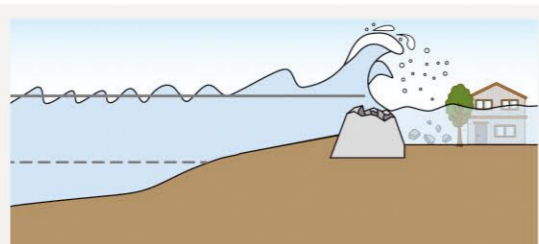
① 砂浜や堤防によって、普段は安全です。



② 高潮が発生すると海面が上昇し、越波や背後地への浸水が起こりやすくなります。



③ 高潮の規模が極めて大きい場合には、堤防が壊れて背後地に多大な被害が発生する可能性が高くなります。



高潮の主な発生原因

① 気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、周囲の空気は海面をおしつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

気圧が1ヘクトパスカル(hPa)低くなると、海面は約1センチメートル上昇します。

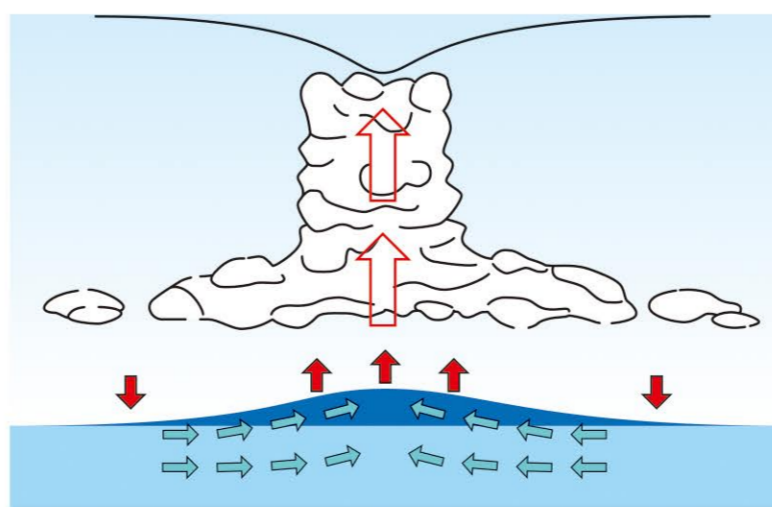


図-1 吸い上げ効果

国土交通省「高潮発生メカニズム」を元に作成
https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jrei/kaigan/kaigandukuri/takashio/1mecha/01-2.html

② 風による吹き寄せ効果

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく働き、高潮が発達しやすくなります。

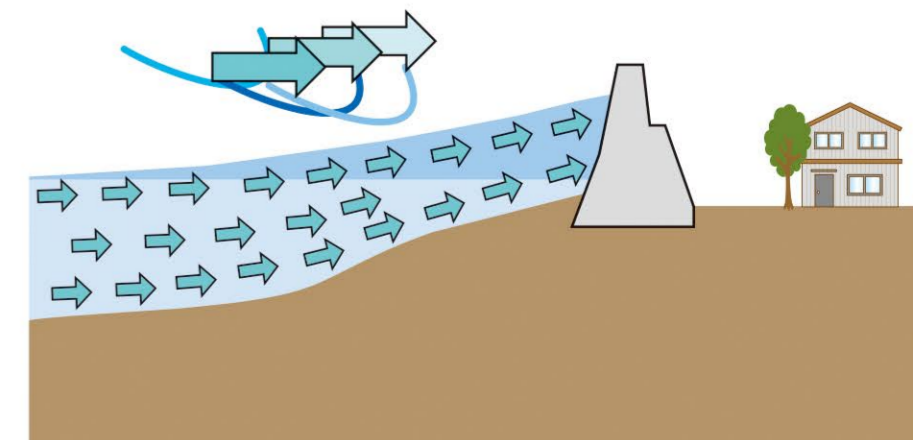


図-2 吹き寄せ効果

国土交通省「高潮発生メカニズム」を元に作成
https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jrei/kaigan/kaigandukuri/takashio/1mecha/01-2.html

想定条件

中心気圧 **910hPa**、暴風半径 **20,30,40,75km**、
 移動速度 **20,30,40,50,53,60,73km/h**の台風